

琵琶湖の保全・再生とCO₂ネットゼロに向けた森林づくりの推進

- ▶ 本県の森林が持つ多面的機能を持続的に発揮させることにより、琵琶湖の水源涵養、淀川水系の流域治水、国土保全や地球温暖化防止を図る

【要望先】財務省、農林水産省

1. 提案・要望内容

(1) 森林整備事業に対する財政支援

- 琵琶湖の保全・再生と淀川水系流域治水に向けた健全な森林の育成や、「しがCO₂ネットゼロ」等の実現に向けて、森林吸収源対策を強化するために、主伐・再造林や奥地における間伐の推進などの森林整備に対する財政支援
- 森林の適正な保全・管理等に必要な森林情報のデジタル化への財政支援

(2) 治山事業に対する財政支援

- 近年、増加している集中豪雨や台風等による土砂流出や流木被害への対応や流域治水の推進に向けた治山事業に対する安定的な財政支援

2. 提案・要望の理由

(1) 森林整備事業に対する財政支援

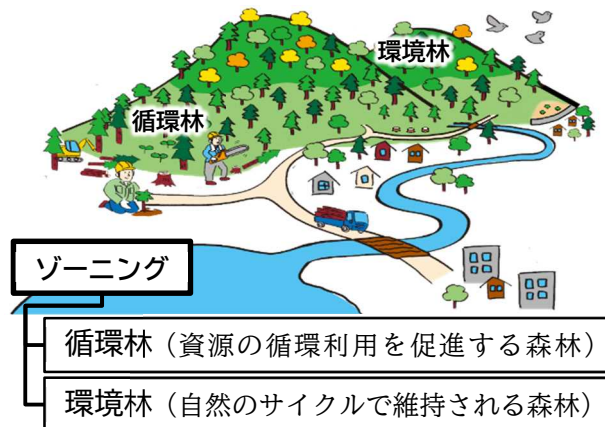
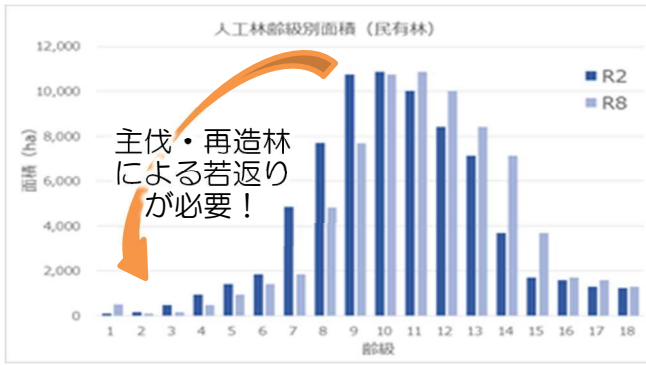
- 本県は、森林の適正管理、林業の成長産業化、さらには農山村の活性化による「やまの健康」に取り組んでいる。
- 喫緊の課題である地球温暖化対策のために、本県は「しがCO₂ネットゼロ」に取り組んでおり、主伐・再造林による森林資源の若返り等による森林吸収源対策の強化とともに、生物多様性の保全に向けて奥地における間伐等による多様で健全な森林の整備が必要。

(2) 治山事業に対する財政支援

- 気候変動の影響により大雨の発生頻度がさらに増加することが懸念されるなか、災害復旧工事の早期完了や、防災・減災、国土強靱化のために治山事業への安定的な財政支援が必要。
- 天然林流域においてシカの食害等により下層植生が衰退し、土砂の流出が発生している。森林の公益的機能を回復させる筋工の設置など、流域治水・水質保全の観点での治山対策が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 森林整備事業の取組状況と課題

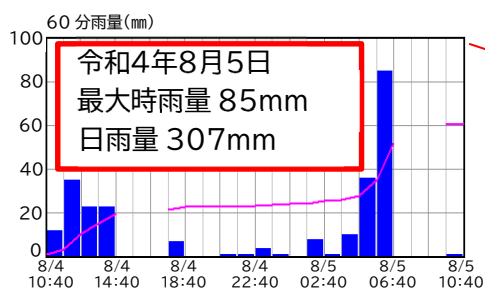


(2) 治山事業の取組状況と課題

○溪流荒廃および整備状況 (H29 災害)



○天然林流域での治山対策



高時川流域の森林の状況(支流を含む)

	合計	うち民有林	うち国有林
森林面積	20,613 ha	16,504 ha	4,173 ha
うち人工林面積	4,950 ha	4,803 ha	261 ha
うち天然林面積	15,663 ha	11,701 ha	3,912 ha
天然林率	75.99 %	70.90 %	93.75 %

天然林率が高い高時川では、令和4年8月の豪雨により河川が氾濫し、以降濁りが継続。シカの食害等により下層植生が衰退、土砂流出。流域治水や水質保全の観点から天然林での治山対策が必要。

担当：琵琶湖環境部 森林政策課 TEL 077-528-3914
森林保全課 TEL 077-528-3930

菅並地先の濁りの状況 (R4.12.2)